

年 組 名前：

上野原・秋山中 「あきやまタイム」で特産品開発



都留文科大の大学生とともに新たな酒まんじゅうの開発に取り組む秋山中の生徒（右）
＝上野原・秋山中

- ・所在地
上野原市秋山6770
- ・全校生徒
24人
- ・創立年月日
1947年4月1日
- ・学校教育目標
「明るく さわやか
賢く 元気」

た豚肉、サツマイモを使ったあきやまタイムを使った酒まんじゅうを開発。2年生の原田ゆかりさんは「実際に酒まんじゅうを作るのは初めて。自分がかけた試作品が形になり、うれしかった」と語った。



赤池 悠、森 航平、高橋 咲良(富士北麓)
武田 寛明(大月・上野原) 森 航平(都留)

秋山美代校長は「大学生や地域の人を巻き込んだ学習の機会として、継続していきたい」と話している。《武田寛明》
＝第1、3土曜日に掲載します

地域と共に活性化考える



⑥

上野原・秋山中は、全校生徒が「あきやまタイム」と名付けた総合的な学習の時間で、地域活性化をテーマにした学習を行っている。5年前からは都留文科大の学生が授業に参加し、地域の野菜を使った新たな特産品の開発などにも取り組んでいる。

「あきやまタイム」は、生地を均等に薄く広げることができ、生地を「東京長カブ」を練り込んで生地を作り、カレーで味付けし

る。酒まんじゅうの開発に取り組んでいるのは「観光特産品」のグループ6人で、同大生と地域の特産品や食文化をまとめたガイドも作った。「自然」は12人がハイキングコースマップの製作、「歴史伝統」は6人が村を紹介する動画の撮影を進めている。

昨年度の学習では、高齢化から栽培する人が少なくなった長カブの栽培を地域住民に呼びかけ、栽培に協力した住民を招いて昨年11月に同校で「長カブフェス」を開催。栽培された長カブの重さや長さなどから住民を表彰した。今年もフェスを開き、開発した新たな酒まんじゅうを来訪者に配ることを計画している。

(2025年10月4日付 山梨日日新聞16面)

問1 上野原市の秋山中は、「あきやまタイム」と名付けた総合的な学習の時間を設けています。生徒が選択できる分野を3種、答えてください。

.....

問2 酒まんじゅうの開発に取り組んだグループは、どのような酒まんじゅうを作りましたか。

.....

問3 あなたは、地域活性化をテーマにした学習で、取り上げたいことがありますか。自由に答えてください。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.